

大阪府に大きな被害をもたらした過去の気象事例 「昭和36年（1961年）第2室戸台風（9月16日）」

暴風、高潮による被害が顕著。～高潮により大阪市の西部から中心部にかけて浸水～

【概況】

9月8日にエニウェック島の南海上で発生した台風第18号は、西北西に進んで発達し、12日から13日にかけて中心気圧が900hPa未満の猛烈な強さの台風となった。14日には沖縄の東海上を通過、15日朝、奄美大島を通過した。その後北東に進み、16日09時すぎ室戸岬の西方に上陸。13時過ぎには兵庫県尼崎市と西宮市の間に再上陸し、18時に能登半島東部に達し日本海に出た。

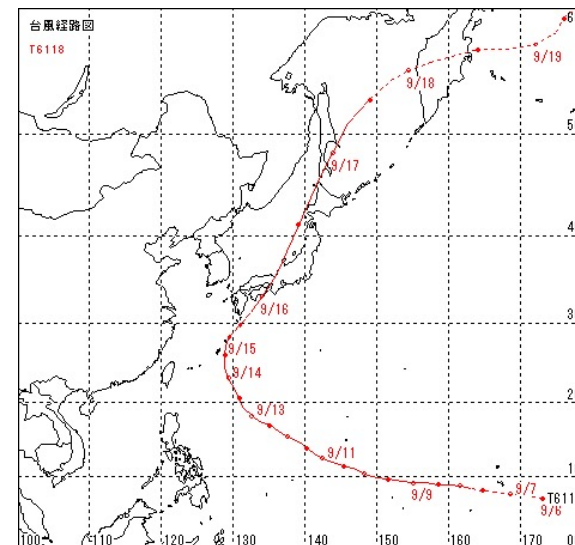
室戸岬では最大風速66.7m/s（最大瞬間風速84.5m/s以上）、大阪で33.3m/s（同50.6m/s）、和歌山で35.0m/s（同56.7m/s）など、各地で暴風となった。

この暴風や高潮による被害が大きく、雨による被害は比較的小さかった。

大阪市では、高潮により市の西部から中心部にかけて31平方kmが浸水したが、過去の同様な規模・進路であった室戸台風、ジェーン台風に比べると浸水面積は小さく、人的被害も小さかった。また、兵庫県、和歌山県、四国東部でも高潮による浸水被害があった。

（大阪府内の被害） 人的被害：死者32名 住家被害：家屋全壊3,386戸 家屋半壊：21,356戸
床上浸水：61,488戸 床下浸水：59,729戸

（被害状況：大阪府ホームページ「大阪府を襲った主な災害」より）



台風経路図（台風第18号）

高潮観測表

地点名	最大潮位偏差	
	偏差 (m)	月日
大阪（大阪府）	2.6*	9/16
和歌山（和歌山県）	2.2*	9/16
名古屋（愛知県）	2.0	9/16
神戸（兵庫県）	1.9	9/16
洲本（兵庫県）	1.9	9/16
下津（和歌山県）	1.6	9/16

潮位偏差は推算潮位（天文潮位）からの偏差。
*：痕跡による

期間：9月15日～17日（近畿地方）

地点名	最大風速			最大瞬間風速		
	m/s	風向	月日	m/s	風向	月日
大阪	33.3	南南東	9/16	50.6	南南東	9/16
神戸	27.0	北東	9/16	39.2	西南西	9/16
姫路	17.3	西	9/16	30.7	西	9/16
豊岡	32.2	北北西	9/16	43.6	北	9/16
京都	22.3	東北東	9/16	34.3	東北東	9/16
舞鶴	29.8	西北西	9/16	48.3	西北西	9/16
彦根	25.7	南南西	9/16	38.9	南東	9/16
奈良	25.0	南南東	9/16	42.4	南南東	9/16
和歌山	35.0	南南西	9/16	56.7	南	9/16

期間降水量（9月15日～17日）
（近畿地方）

地点名	期間降水量
大阪	48.8ミリ
神戸	121.2ミリ
姫路	123.9ミリ
豊岡	168.8ミリ
京都	59.9ミリ
舞鶴	89.5ミリ
彦根	57.5ミリ
奈良	31.9ミリ
和歌山	138.1ミリ